

ほがらか

ほなみだより

第72号

平成29年2月1日

[発行元] 酒田市本楯字前田 127-2

[発行者] 医療法人 宏友会
グループホームほなみ

[問合せ] (0234) 91-7123

ほなみの

お正月

今年の正月は玄関にしめ縄を飾り、居室には
各々が手作りしたカレンダーを飾りました。し
め縄は十二月に地域の方と一緒に作ったもので
す。玄関に飾ると、入居者や地域の方から「正
月らしくて良いの」と言われました。
年が明けてからは、書き初めや羽つきを楽しみ
ました。書き初めは毎年行っており、始めは
「書けない」と言いながらも何度も書き直して
完成させた方や、子供の頃に学校で習った書道
を懐かしく書いてくれる方もいました。
羽子板は厚紙に可愛い女の子が描いてある
絵を貼り、入居者が色を塗って手作りしまし
た。夢中になって羽つきをしました。
今年も入居者の皆さんと一緒に笑って過ごせる
ことを願いたい。

(佐藤 千津子)



ほなみで行っている

ちっちゃいけれど... 大きな工夫

ほなみでは、毎月地域の方と入居者の方との交流を行っています。

交流を通じて認知症の理解を深めてもらい、入居者が、どのような生活をしているか、どのような関わりをすればその人らしく生活していけるのかを地域の方に見ていただくことが目的です。

活動内容は、入居者と地域の方の特技や趣味などをいかし話し合っ決めてます。地域の方は、最初は入居者の方とどう接したらいいか戸惑う様子でしたが、入居者のやさしさに触れたり、手慣れた作業に感心したり、接し



ていく中で自然に接し方を身に付けられ、良き人生の先輩として関わりを持てるようになりました。

入居者の方々も名前を呼んでもらい、一緒に作業をしていくことで顔なじみの関係になり楽しい時間を過ごすことができます。

1/15 家族の日

家族と餅つきを行いました

今年も健康で

楽しく暮らせますように



1/7 獅子舞



1/3 初詣



鮭の調理



1/11 民謡を歌う会

ほなみ写真館



編集後記

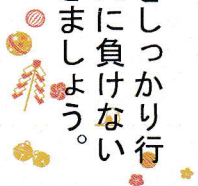


正月に妹から七福神の置物をプレゼントされ、福々しくユーモラスで見ているだけで笑顔になります。春になったら妹と街歩きしながら県内の七福神巡りをし、元氣と笑顔を貰いに行こうと思っっています。ちなみに、実家近くの寺には布袋様があるんですよ。

(相澤 シゲ)

お知らせ

首都圏や東海、九州地方を中心に、インフルエンザが猛威をふるっているようです。インフルエンザは一月下旬から二月上旬が一番のピーク。湿度管理をしっかりと行い、インフルエンザウイルスに負けないように、予防を心がけていきましょう。



ある日のほなみ

初詣に出掛ける前に、神様に何をお願いしたいか入居者の皆さんに聞いてみました。ご自分やご家族の無病息災を祈願したいという方が多い中、ある方は間を置かず「お金もうけ！」と。その場は笑いに包まれました。笑う門には福来る、今年も皆さん笑顔いっぱい的一年になりますように☆

(土田 結佳)